

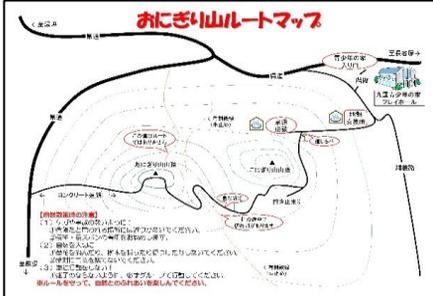
# 活動一覽



# 活動一覽

区分	No.	活動名	場所	時期(期間)	所要時間	可能人数(上限)	期待される効果						教科との関連(例)		職員による指導形態 ■全指導 □一部指導 ▲自主活動	
							人間関係を深める	親睦を深める	自然に親しむ	環境について学ぶ	挑戦心や耐力を養う	創造性を養う	教養を高める	教科		学年
自然体験活動	1	おにぎり山ウォークラリー	おにぎり山コース	通年	2~3	200	◎	◎	◎	○	◎			体育特別活動	全学年 全学年	□
	2	展望台ウォークラリー	敷地内コース	通年	2	200	◎	◎	◎	○	◎			体育理科特別活動	全学年 全学年	▲
	3	オリエンテーリング	敷地内コース	通年	2~3	200	◎	◎	◎	○	◎			体育特別活動	全学年 全学年	□
	4	野外炊飯	キャンプ場	4~9月	3~4	80	◎	◎	○	◎	○			家庭科特別活動	小5年~ 全学年	□
	5	雪すべり	中庭	積雪時	1~2	100			◎		○			体育特別活動	全学年 全学年	□
	6	ネイチャービンゴ	敷地内コース	通年	2	80	◎	◎	◎	○	◎			体育理科特別活動	全学年 全学年	▲
	7	いきもの調査	敷地内 沢及び観察の森周辺	通年	1.5	80	◎	◎	◎	○	◎			体育理科特別活動	全学年 全学年	▲
	8	沢のいきものしらべ	敷地内沢	通年	1~1.5	30			◎	○				なし	未就学児	□ ▲
	9	登山	九重山系	4~11月	5~7	適宜	◎	○	◎	○	◎			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	10	自分で作る！おにぎり山登山計画	敷地内およびおにぎり山	4~11月	2~2.5	適宜	◎	○	◎	○	◎			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	11	おにぎり山トレッキング	敷地内およびおにぎり山	4~11月	2~2.5	適宜	◎	○	◎	○	◎			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	12	ハイキング	飯田高原周辺等	通年	適宜	適宜	○	◎	◎	○	○			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	13	ナイトハイク	キャンプ場または敷地外	通年	1	適宜			◎	○				特別活動	全学年	▲
	14	双眼鏡で天体観測	敷地内	通年	0.5~1	40			◎	○			◎	理科特別活動	小4年~ 全学年	□ ▲
	15	天体観測	つどいの広場	通年	0.5~1	40			◎	○			◎	理科特別活動	小4年~ 全学年	□ ▲
交流体験活動	16	キャンプファイヤー	営火場	4~9月	1~2	80	◎	◎	○			○		特別活動	全学年	□
	17	キャンドルファイヤー	プレイホール、研修室等	通年	1~2	300	◎	◎				○		特別活動	全学年	□
	18	チームワーク研修 イニシアティブゲーム	プレイホール、研修室	通年	適宜	30	◎	◎			◎			体育特別活動	全学年 全学年	□
スポーツ活動	19	フィールドアスレチック	アスレチックコース	通年	1~2	300	○	○	○		◎			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	20	スキー	くじゅう森林公園 スキー場	スキー場 営業時	4~	適宜	○	○	○		◎			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	21	ソフトバタンク	プレイホール、研修室等	通年	適宜	60	◎	◎						体育特別活動	全学年 全学年	□
	22	スラックライン	ふれあい広場	通年	適宜	10	○	◎			○			体育特別活動	全学年 全学年	▲
	23	軽スポーツ	プレイホール、多目的広場等	通年	適宜	適宜	○	◎			○			体育特別活動	全学年 全学年	▲
文化活動	24	プラネタリウム	プラネタリウム室	通年	0.5~1	140			○	◎			◎	理科特別活動	小4年~ 全学年	■
	25	学習プログラム (日周・年周運動等) プラネタリウム	プラネタリウム室	通年	0.5~1	140			○	◎			◎	理科特別活動	中学生	■
	26	簡易炊飯	研修室	通年	3~4	40			◎	◎	○			家庭科特別活動	小5年~ 全学年	□
	27	バードコール工作	工作室等、 (研修室でも可)	通年	1~1.5	35			○		○	◎		図工特別活動	全学年 全学年	□
	28	ブラホビー工作	視聴覚室、 研修室等	通年	1~1.5	100					○	◎		図工特別活動	全学年 全学年	□
	29	勾玉工作	工作室	通年	1.5~2	35					○	◎		社会 図工	小6年~ 全学年	□
	30	どんぐりアート	研修室等	通年	1.5~2	15			○		○	◎		図工特別活動	全学年 全学年	□

# 1おにぎり山ウォークラリー

<p><b>概要</b></p>	<p>分岐点のみを表したコマ図を使い、あらかじめ決められたチェックポイントに設けられた問題を順番に解きながら、決められた時間までに戻ってくる活動</p>	
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>◎人間関係を深める ◎親睦を深める ◎自然に親しむ ◎挑戦心や忍耐力を養う ◎環境について学ぶ</p>	
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>体育(全学年)、特別活動(全学年)</p>	
<p><b>人数</b></p>	<p>200名まで(1班5名程度)</p>	
<p><b>場所</b></p>	<p>人数に応じた場所(プレイホール・研修室など)に集合 おにぎり山コース</p>	
<p><b>時間</b></p>	<p>2～3時間 ※ショート版もあり</p>	
<p><b>指導形態</b></p>	<p>一部指導</p>	
<p><b>活動時期</b></p>	<p>通年</p>	
<p><b>経費</b></p>	<p>なし</p>	
<p><b>利用者準備物</b></p>	<p>筆記具(班の代表者)、帽子、合羽、水筒、タオル、長袖、長ズボン</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">引率者の役割</p>	<p><b>活動前</b></p>	<p>①施設職員と採点基準・方法、引率者の役割分担を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③物品(ビブス、コマ図、解答用紙、バインダー)を配布する。</p>
	<p><b>活動中</b></p>	<p>本部:①監視者と適宜連絡をとり、緊急の場合は事務室に連絡する。 ②ゴールした班から物品を返納させ、採点する。 ③全員がゴールするまで安全に待機させる。 監視:①歩行の様子を把握し問題点があれば指導する。 ②監視者の地点で一旦集合させ、研修生の健康観察を行う。 ③適宜本部や他の監視者と連絡を取り合う。</p>
	<p><b>活動後</b></p>	<p>①活動のふりかえりを行う。 ②貸出物品の確認、事務室に返納する。</p>
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<p>①夏季は特に熱中症対策をする。(帽子の着用、水筒・タオルの携帯など) ②山中を歩くので長袖などを用意し、虫さされなどの対策をとる。 ③落雷の恐れがある場合は直ちに中止する。</p>	
<p><b>その他</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

# 2展望台ウォークラリー

<b>概要</b>		自然を感じながら、所内を散策 ゲームを取り入れながら、班員との交流を深める
<b>期待される効果</b>		○自然に親しむ ○仲間作り
<b>教科との関連(例)</b>		理科(全学年)、特別活動(全学年)
<b>人数</b>		200名以内
<b>場所</b>		所内
<b>時間</b>		2時間
<b>指導形態</b>		自主活動
<b>活動時期</b>		通年
<b>経費</b>		なし
<b>事前に準備するもの</b>		筆記具(班の代表者)、帽子、合羽、水筒、タオル、長袖、長ズボン
<b>引率者の役割</b>	<b>活動前</b>	事前指導 レク係など子どもたち自身が、ルールなど説明すると効果的 ①準備物 解答用紙 枚数を事前に施設職員に連絡(事務室にて受け取り) ②活動の目当て ルール 注意点を確認する
	<b>活動中</b>	①活動中は、敷地内での見守り ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ
	<b>活動後</b>	①人数確認と健康観察 ②採点 ③ふりかえり
<b>安全上の留意点</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎の活動の場合・・・班の人みんなで動くこと</li> <li>・こまめな水分補給</li> <li>・トイレは、出発前に済ませておく</li> <li>・集合場所と集合時間の告知</li> <li>・緊急時に指導者のいる場所を告知</li> </ul>
<b>その他</b>		<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長袖・長ズボン(肌の露出を抑える)</li> <li>・リュックサック</li> <li>・タオル</li> <li>・水筒</li> <li>・鉛筆</li> </ul> <p>【所の方で準備しているもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題用紙と解答用紙</li> <li>・バインダー(100枚まで)</li> </ul>



# 3オリエンテーリング

概 要	九重青少年の家の敷地内にあるポストの数字や文字を班員で協力して探し、決められた時間までに戻ってくる活動	
期待される効果	◎人間関係を深める ◎親睦を深める ◎自然に親しむ ◎挑戦心や忍耐力を養う ○環境について学ぶ	
教科との関連(例)	体育(全学年)、特別活動(全学年)	
人 数	200名まで(1班5名程度)	
場 所	人数に応じた場所(プレイホール・研修室など)で説明を聞く。 九重青少年の家の敷地内で活動する。	
時 間	2～3時間(10問コース、16問コース、20問コース)	
指導形態	一部指導	
活動時期	通年	
経 費	なし	
事前に準備するもの	筆記具(班の代表者)、帽子、合羽、水筒、タオル、長袖、長ズボン	
引率者の役割	活動前	①施設職員と採点基準・方法、引率者の役割分担を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③物品(ゼッケン、地図・解答用紙、バインダー)を配布する。
	活動中	本部:①監視者と適宜連絡をとる。 ②全員がゴールするまで安全に待機させる。 監視:①監視者の地点で一旦集合させ、研修生の健康観察を行う。 ②本部や他の監視者と適宜連絡を取り合う。
	活動後	①活動のふりかえりを行う。 ②貸出物品の確認後、事務室に返納する。
安全上の留意点	①夏季は特に熱中症対策をする。(帽子の着用、水筒・タオルの携帯など) ②山中を歩くので長袖などを着用し、虫さされなどの対策をとる。 ③落雷の恐れがある場合は直ちに中止する。	
その他	 	

# 4野外炊飯

概要	自然の中で薪を燃料として自分たちの食事を自分たちの力で作り上げ、食事作りの原点を体験する活動	
期待される効果	◎人間関係を深める ◎親睦を深める ◎環境について学ぶ ○自然に親しむ ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	家庭科(小5～)、特別活動(全学年)	
人数	80名まで	
場所	キャンプ場炊飯棟	
時間	3～4時間	
指導形態	一部指導	
活動時期	4月～9月	
経費	薪代:1束200円 食材費:一人840円(食堂に注文する場合) ※食材:米、カレールー、肉、野菜、油	
事前に準備するもの	○服装 長袖シャツ、長ズボン、帽子、運動靴 ○携行品 個人:軍手、タオル、食器、スプーン、箸等 団体:食材(食堂に注文の場合は不要)、マッチ、クレンザー、ふきん、救急用品等	
引率者の役割	活動前	①指導員と所要時間や指導内容、携行品、班の数と人数等を確認する。 ②各自の携行品を確認させる。 ③団体指導者の引率で、キャンプ場の活動センター前に移動させる。 ④活動グループ毎に整列させる。
	活動中	①炊飯用具や薪、食材等の各班への受渡しの指導・確認を行う。貸出す鉋の数を確認。 ②火気や刃物(包丁、ナタ)の使用等によるけがを防止するため、巡回指導を行う。 ③炊飯用具等の返却の指導・確認を行う。 ④ゴミやかまどの炭・灰の処理、炊飯場の清掃等の指導・確認を行う。鉋の数を確認。
	活動後	○人数確認を行い、団体指導者の引率で、次の活動場所へ移動させる。
安全上の留意点	①ナタの使用にあたって ・必ずナタを持つ手は素手で、薪を持つ方の手に軍手をはめる。 ・安全なバトニング(ナタを薪に乗せ、木片等で叩く)が基本 ※絶対に薪にナタを振り下ろさない。 ②かまどの使用にあたって ・そばに燃えやすいものを放置しない。 ③手洗いや食材の洗浄等衛生面に留意し、食中毒防止に努める。 ④熱中症の予防に注意する。	
その他	 	

# 5雪すべり

<p><b>概要</b></p>	<p>積雪時の九重青少年の家の中庭で、自然に親しみ、自然の中で遊ぶことの楽しさを体験する活動</p>
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>◎自然に親しむ ○挑戦心や忍耐力を養う</p>
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>体育(全学年)、特別活動(全学年)</p>
<p><b>人数</b></p>	<p>100名</p>
<p><b>場所</b></p>	<p>中庭</p>
<p><b>時間</b></p>	<p>1～2時間</p>
<p><b>指導形態</b></p>	<p>一部指導</p>
<p><b>活動時期</b></p>	<p>積雪時</p>
<p><b>経費</b></p>	<p>なし</p>
<p><b>事前に準備するもの</b></p>	<p>手袋、帽子、水筒、医薬品、ホイッスル、防寒着</p>
<p><b>引率者の役割</b></p>	<p><b>活動前</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①事前の健康チェックを行う。</li> <li>②事前に必ずトイレに行かせる。</li> <li>③列の先頭と最後尾には必ず指導者がつく。</li> <li>④ソリは抱えて運ばせる。</li> </ul> <hr/> <p><b>活動中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①最初に「滑り方」「止まり方」「転び方」の練習をさせる。</li> <li>②指導者のホイッスルの合図に従い、順番にスタートさせる。</li> <li>③「子どもだけでの二人乗り」「立ち乗り」「手放し」はさせない。</li> <li>④滑走時は、両手で横の取っ手をしっかり握らせる。</li> <li>⑤スピードが出過ぎた場合は、両足をボードの外側に出し、地面に滑らせて減速させる。</li> </ul> <hr/> <p><b>活動後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①列の先頭と最後尾には必ず指導者がつく。</li> <li>②ソリは抱えて運ばせる。</li> <li>③ソリの保管場所に汚れを落として返却させる。</li> </ul>
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①止まれないときは、故意に転んで停止する。</li> <li>②停止後は、後方の安全を確認し、速やかにコースを離れる。</li> <li>③斜面を登るときは、滑走コースを通らず、決められたルートを通る。コース以外では絶対に滑らない。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	

# 6ネイチャービンゴ

概要		自然を感じながら、所内を散策 ゲームを取り入れて生物の多様性を考える
期待される効果		○自然に親しむ ○生物の多様性についての理解
教科との関連(例)		理科(全学年)、特別活動(全学年)
人数		80名程度
場所		所内
時間		2時間
指導形態		自主活動
活動時期		通年
経費		なし
事前に準備するもの		筆記具(班の代表者)、帽子、合羽、水筒、タオル、長袖、長ズボン
引率者の役割	活動前	事前指導 環境を守る取組として野焼きについて、学習すると効果的です ①準備物および注意事項確認 ②活動の目当てを確認する
	活動中	①指定された位置での見守り ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ
	活動後	①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり
安全上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎の活動の場合・・・班の人みんなで動くこと</li> <li>・こまめな水分補給</li> <li>・トイレは、出発前に済ませておく</li> <li>・集合場所と集合時間の告知</li> <li>・緊急時に指導者のいる場所を告知</li> </ul>
その他		<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長袖・長ズボン(肌の露出を抑える)</li> <li>・リュックサック</li> <li>・タオル</li> <li>・水筒</li> </ul> <p>【所の方で準備しているもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題用紙</li> <li>・バインダー(100枚)</li> </ul>



# 7いきもの調査

概要	所内 沢及び観察の森にて生物を見つける。 景観の違いをとおして「野焼き」の役割を考える。	
期待される効果	○自然に親しむ ○生物の多様性についての理解	
教科との関連(例)	理科(全学年)、特別活動(全学年)	
人数	80名以内	
場所	所内	
時間	1.5時間	
指導形態	自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	筆記具(班の代表者)、帽子、合羽、水筒、タオル、長袖、長ズボン	
引率者の役割	活動前	事前指導 環境を守る取組として野焼きについて、学習する(説明動画あり) ①準備物および注意事項確認 ②活動の目当てを確認する
	活動中	①指定された位置での見守り ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ
	活動後	①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり
安全上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎の活動の場合・・・班の人みんなで動くこと</li> <li>・こまめな水分補給</li> <li>・トイレは、出発前に済ませておく</li> <li>・集合場所と集合時間の告知</li> <li>・緊急時に指導者のいる場所を告知</li> </ul>	
その他	<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長袖・長ズボン(肌の露出を抑える)</li> <li>・リュックサック</li> <li>・タオル</li> <li>・水筒</li> </ul> <p>【所の方で準備しているもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題用紙</li> <li>・バインダー(100枚)</li> </ul>	



# 8沢のいきものしらべ

概要	施設内の沢で、植物や生き物を観察・スケッチし、自然や命についての理解を深める。	
期待される効果	◎自然に親しむ ◎命を知る ○環境について学ぶ	
教科との関連 (例)		
人数	30名程度	
場所	敷地内の沢	
時間	1～1.5時間	
指導形態	一部指導 自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	なし(季節に応じた服装、タオル等)	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間や指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③団体指導者の引率で、集合場所へ静かに移動・整列させる。
	活動中	①沢岸では安全指導には十分気を配る。 ②沢の中で暴れないよう注意する。
	活動後	①濡れた体を拭く。 ②スケッチを行い、他者との交流を通して、自他の良さを認めることができるようにする。
安全上の留意点	①健康管理(熱中症対策とけが対策) ②調整池には入らない	
その他	<p>【活動の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>調整池にわなに餌を入れ仕掛ける</li> <li>仕掛けている間に、沢周辺で動植物を観察する</li> <li>わなを回収する</li> <li>捕獲した動物を観察・スケッチする</li> </ol> <p>【貸出物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わな(ペットボトル)</li> <li>・餌(要相談)</li> <li>・水槽(虫取りケース)</li> <li>・観察用水槽</li> <li>・探検ボード</li> <li>・クレヨン、色鉛筆(要相談)</li> </ul>	 

# 9登山

<p><b>概要</b></p>	<p>発達段階、体力、研修のねらいに応じて、くじゅう連山の中から目標とする山とコースを決め、踏破する活動</p>
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>◎人間関係を深める ◎自然に親しむ ◎挑戦心や忍耐力を養う ◎親睦を深める ○環境について学ぶ</p>
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>体育(全学年)、特別活動(全学年)</p>
<p><b>人数</b></p>	<p>適宜</p>
<p><b>場所</b></p>	<p>くじゅう連山(久住山、星生山、扇が鼻、黒岩山、泉水山 涌蓋山 等)</p>
<p><b>時間</b></p>	<p>5～7時間(コースや団体に応じて)</p>
<p><b>指導形態</b></p>	<p>自主活動</p>
<p><b>活動時期</b></p>	<p>4月～11月</p>
<p><b>経費</b></p>	<p>なし</p>
<p><b>事前に準備するもの</b></p>	<p>手袋、帽子、水筒、タオル、リュック、ホイッスル、携行医薬品、無線機、地図</p>
<p><b>引率者の役割</b></p>	<p><b>活動前</b></p> <p>①緊急連絡体制の確認及び緊急事態発生時の対応を確認する。 ②引率者、参加者の役割分担を確認する。 ③健康観察及びトイレに行かせる。 ④気象の状況を確認する。(特に落雷)</p>
	<p><b>活動中</b></p> <p>①参加者の体調に合わせて休憩をとり、水分補給をさせる。 ②引率者同士適宜連絡を取り合う。</p>
	<p><b>活動後</b></p> <p>①参加者の健康観察を行う。 ②活動のふりかえりを行う。</p>
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<p>①引率者全員で実地踏査を事前に行い、危機管理を確実にを行う。 ②夏季は特に熱中症の対策を確実にしておく。 ③落雷の恐れがある場合は直ちに中止する。</p>
<p><b>活動の様子</b></p>	

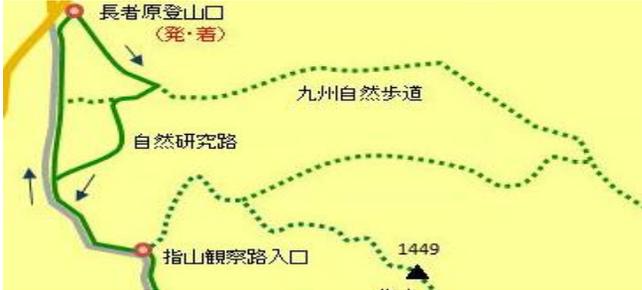
# 10自分で作る おにぎり山登山計画

<p><b>概要</b></p>	<p>来所前に、ルートの紹介動画及び地図にある等高線をみながら、ルートマップを作成 当日は、自然を感じながら、所内およびおにぎり山登頂を目指す 安全面を考慮した登山活動</p>						
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>○自然に親しむ ○挑戦心や忍耐力を養う</p>						
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>社会・体育(全学年)、特別活動(全学年)</p>						
<p><b>人数</b></p>	<p>制限なし</p>						
<p><b>場所</b></p>	<p>所内およびおにぎり山</p>						
<p><b>時間</b></p>	<p>2時間から2.5時間</p>						
<p><b>指導形態</b></p>	<p>自主活動</p>						
<p><b>活動時期</b></p>	<p>通年</p>						
<p><b>経費</b></p>	<p>なし</p>						
<p><b>事前に準備するもの</b></p>	<p>長そで長ズボン、帽子、水筒、タオル、作成したルートマップ</p>						
<p><b>引率者の役割</b></p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="139 882 317 1048"> <p><b>活動前</b></p> </td> <td data-bbox="317 882 1402 1048"> <p>事前にコースの下見 ①班数・人数を確認・注意事項の説明 ②トイレに行かせる。 ③班でまとまって出発</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="139 1048 317 1193"> <p><b>活動中</b></p> </td> <td data-bbox="317 1048 1402 1193"> <p>①必要に応じて、所に連絡を入れる ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="139 1193 317 1301"> <p><b>活動後</b></p> </td> <td data-bbox="317 1193 1402 1301"> <p>①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり</p> </td> </tr> </table>	<p><b>活動前</b></p>	<p>事前にコースの下見 ①班数・人数を確認・注意事項の説明 ②トイレに行かせる。 ③班でまとまって出発</p>	<p><b>活動中</b></p>	<p>①必要に応じて、所に連絡を入れる ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ</p>	<p><b>活動後</b></p>	<p>①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり</p>
<p><b>活動前</b></p>	<p>事前にコースの下見 ①班数・人数を確認・注意事項の説明 ②トイレに行かせる。 ③班でまとまって出発</p>						
<p><b>活動中</b></p>	<p>①必要に応じて、所に連絡を入れる ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ</p>						
<p><b>活動後</b></p>	<p>①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり</p>						
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<p>○出発前の天気状況の把握 ○水分補給を確実に実施する</p>						
<p><b>その他</b></p>	 <p><b>自分で作る! おにぎり山登山計画</b></p> <p><b>最短コース!</b> A-I-J 近道コース 箱根内を最短ショートカット (所要時間 約5分)</p> <p><b>観望台</b> F 観望台は、休憩におすすめ (所要時間 約15分)</p> <p><b>休憩場所</b> 給水・休憩ポイントを3つ以上決めよう。(おすすめ場所は、FKL)</p> <p><b>注意:</b> ゆっくり歩き、しっかり休憩できる ゆとりのある計画にしよう。</p> <p>○ルートとスケジュールを決めよう 集いの広場から出発して戻ってくるまでのルートを考えよう。</p> <p>A- ( : )      -N- ( : )      -A ( : )</p>						

# 11おにぎり山トレッキング

概要	自然を感じながら、所内およびおにぎり山を散策 安全面を考慮した登山活動	
期待される効果	○自然に親しむ ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	体育(全学年)、特別活動(全学年)	
人数	制限なし	
場所	所内およびおにぎり山	
時間	2時間から2.5時間	
指導形態	自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	長そで長ズボン、帽子、水筒、タオル、地図	
引率者の役割	活動前	事前にコースの下見 ①班数・人数を確認・注意事項の説明 ②トイレに行かせる。 ③班でまとまって出発
	活動中	①必要に応じて、所に連絡を入れる ②天気が急変した場合は、建物内に避難を指示する ③休憩および水分補給の声かけ
	活動後	①人数確認 ②健康観察 ③ふりかえり
安全上の留意点	○出発前の天気状況の把握 ○水分補給を確実に実施する	
その他	<p>【コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通常コース(集いのひろば～展望台～おにぎり山 往復)</li> <li>○おにぎり・こにぎり満腹コース (集いのひろば～展望台～こにぎり山～おにぎり山 往復)</li> </ul> 	

# 12ハイキング

<p>概 要</p>	<p>発達段階、体力、研修のねらいに応じて、目標とする山とコースを決め、楽しみながら山を歩く活動</p>
<p>期待される効果</p>	<p>◎自然に親しむ ◎親睦を深める ○人間関係を深める ○環境について学ぶ ○挑戦心や忍耐力を養う</p>
<p>教科との関連(例)</p>	<p>体育(全学年) 特別活動(全学年)</p>
<p>人 数</p>	<p>適宜</p>
<p>場 所</p>	<p>飯田高原周辺</p>
<p>時 間</p>	<p>適宜</p>
<p>指導形態</p>	<p>自主活動</p>
<p>活動時期</p>	<p>通年</p>
<p>経 費</p>	<p>なし</p>
<p>事前に準備するもの 長そで長ズボン、帽子、水筒、タオル、地図</p>	
<p>引率者の役割</p>	<p>活動前</p> <p>①緊急連絡体制の確認をする。 ②緊急事態発生時の対応の確認をする。 ③引率者、参加者の役割分担の確認をする。 ④健康観察をする。 ⑤トイレに行かせる。 ⑥気象の状況を確認する。(特に落雷)</p>
	<p>活動中</p> <p>①参加者の体調に合わせて休憩をとり、水分などを補給させる。 ②引率者同士適宜連絡を取り合う。</p>
	<p>活動後</p> <p>①参加者の健康観察を行う。 ②ハイキングで感じたことなどを出し合い、活動をふりかえる。</p>
<p>安全上の留意点</p> <p>①引率者全員で実地踏査を事前に行い、危機管理を確実に行う。 ②夏季は特に熱中症および落雷の対策を確実にしておく。</p>	
<p>その他</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="365 1721 682 2001">  <p>三俣山を望む</p> </div> <div data-bbox="711 1711 1353 2001">  <p>指山観察路地図</p> </div> </div>

# 13ナイトハイク

概要	夜の静寂の中、星空を眺めたり、動物の気配を感じることで、自然についての理解を深める。	
期待される効果	◎自然に親しむ ○環境について学ぶ	
教科との関連(例)	特別活動(全学年)	
人数	制限なし	
場所	キャンプ場または敷地外	
時間	1時間	
指導形態	自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	水筒、ライト、季節に応じた服装、タオル、虫よけスプレー等	
引率者の役割	活動前	①緊急連絡体制の確認をする。 ②緊急事態発生時の対応の確認をする。 ③引率者、参加者の役割分担の確認をする。 ④トイレに行かせる。
	活動中	①参加者の体調に合わせて休憩をとり、水分などを補給させる。 ②引率者同士適宜連絡を取り合う。
	活動後	①参加者の健康観察を行う。 ②感じたことなどを出し合い、活動をふりかえる。
安全上の留意点	①実地踏査(事前の現地調査) ②健康管理(熱中症対策とけが対策)	
その他	<p>【活動のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①間隔をあけ、横になり静寂をつくる</li> <li>②何種類の音が聞こえるか</li> <li>③星を眺める</li> <li>④活動を振り返る</li> </ul> <p>【貸出可能物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯双眼鏡(30個)</li> <li>・キャンピングマット(30個)</li> </ul>	 

# 14双眼鏡で星空観察

概要	夜空に輝く星々を眺めながら星や星座の話聞き、双眼鏡で月や星雲・星団等を観察したりして、宇宙の奥深さにふれる活動	
期待される効果	◎自然に親しむ ◎教養を高める ○環境について学ぶ	
教科との関連(例)	理科(小4年～) 特別活動(全学年～)	
人数	40名以内	
場所	観察:つどいの広場 グラウンド等	
時間	30分～1時間	
指導形態	一部指導 自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	なし(季節に応じた服装等)	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間や指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③団体指導者の引率で、つどいの広場へ静かに移動・整列させる。
	活動中	①星空観察場所は、暗いので安全指導には十分気を配る。
	活動後	①感想発表を行い、他者との感想交流を通して、他者の様々な感想に触れ自分の考えを広げたり、他者の良さを認めることができるようにする。 ②所内への移動時は、暗く危険なので安全指導には十分気を配る。
安全上の留意点	①夜間の活動のため、移動の際の足元に注意させる。 ②時期によっては冷え込みが厳しいので、防寒に気をつける。	
その他	<p>準備するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・双眼鏡A 5倍 (10台 貸出可)</li> <li>・双眼鏡B20倍から50倍 ( 3台 貸出可)</li> <li>・双眼鏡C 5倍 (30台 貸出可)</li> <li>・星座早見盤 (15枚 貸出可)</li> <li>・タブレット端末 ( 3台 貸出可)</li> <li>・懐中電灯</li> </ul> <p>活動の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 目視 星座早見盤またはタブレット端末を使って 北の方角を知る 知っている星座を探す</li> <li>② 双眼鏡Aを使って、5・6等星を探す 肉眼では見えない星があることを知る</li> <li>③ 双眼鏡Bを使って、 月のクレーター 惑星 アンドロメダ銀河など</li> </ol>	

# 15天体観測

概要	夜空に輝く星々を眺めながら星や星座の話を聞き、天体望遠鏡で惑星や星雲・星団等を観察したりして、宇宙の奥深さにふれる活動
期待される効果	◎自然に親しむ ◎教養を高める ○環境について学ぶ
教科との関連(例)	理科(小4年～) 特別活動(全学年～)
人数	40名以内
場所	観察: つどいの広場等
時間	30分～1時間
指導形態	一部指導 自主活動
活動時期	通年
経費	なし
事前に準備するもの	なし(季節に応じた服装等)
引率者の役割	活動前 ①施設職員と所要時間や指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③団体指導者の引率で、つどいの広場へ静かに移動・整列させる。
	活動中 ①星空観察場所は、暗いので安全指導には十分気を配る。 ②望遠鏡での観察は人数に限りがあるので、施設職員の指示に従い安全な観察を行えるよう留意する。
	活動後 ①感想発表を行い、他者との感想交流を通して、他者の様々な感想に触れ自分の考えを広げたり、他者の良さを認めることができるようにする。 ②所内への移動時は、暗く危険なので安全指導には十分気を配る。
安全上の留意点	①夜間の活動のため、移動の際の足元に注意させる。 ②時期によっては冷え込みが厳しいので、防寒に気をつける。
その他	 

# 16キャンプファイヤー

<p><b>概要</b></p>	<p>大自然の闇と炎がかもし出す神秘的な雰囲気の中で、厳粛に行う儀式と楽しい集いを通して参加者の心情を揺さぶる活動</p>
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>◎人間関係を深める ◎親睦を深める ○自然に親しむ ○創造性を養う</p>
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>特別活動(全学年)</p>
<p><b>人数</b></p>	<p>最大80名</p>
<p><b>場所</b></p>	<p>営火場</p>
<p><b>時間</b></p>	<p>1時間～2時間</p>
<p><b>指導形態</b></p>	<p>一部指導</p>
<p><b>活動時期</b></p>	<p>4月～9月</p>
<p><b>経費</b></p>	<p>薪代(200円)×使用束</p>
<p><b>事前に準備するもの</b></p>	<p>トーチ</p>
<p><b>引率者の役割</b></p>	<p><b>活動前</b></p> <p>①儀式は、私語を慎み厳粛な雰囲気でおこなえるよう事前に指導しておく。 ②施設指導員と火の始末や後片付けの方法について確認しておく。 ③会場設営を行う。 ④リハーサルを行う。</p> <hr/> <p><b>活動中</b></p> <p>①参加者が安全且つ充実した活動となるよう見守る。 ②活動の妨げになる言動や行動がある場合は、適宜注意する。</p> <hr/> <p><b>活動後</b></p> <p>①火の始末と使用した道具の後片付けを行う。 ②会場を設営前の状態に戻す。</p>
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<p>①火に近寄りすぎない、風がある場合は、風下に行かないことに留意 ②まわりで発表などの活動を行うときは、対処の仕方の事前指導</p>
<p><b>その他</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

# 17キャンドルファイヤー

概要	闇とろうソクの炎がかもし出す神秘的な雰囲気の中で、厳粛に行う儀式と楽しい集いを通して参加者の心情を揺さぶる活動
期待される効果	◎人間関係を深める ◎親睦を深める ○自然に親しむ ○創造性を養う
教科との関連(例)	特別活動(全学年)
人数	最大300名
場所	プレイホール等
時間	1～2時間
指導形態	一部指導
活動時期	通年
経費	ろうソク1本:10円
事前に準備するもの	なし
引率者の役割	活動前 ①儀式の部は、私語を慎み厳粛な雰囲気で行えるよう事前に指導しておく。 ②施設職員と火の始末や後片付けの方法について確認しておく。 ③会場設営を行う。 ④リハーサルを行う。
	活動中 ①参加者が安全且つ充実した活動となるよう見守る。 ②活動の妨げになる言動や行動がある場合は、適宜注意する。
	活動後 ①火の始末と使用した道具の後片付けを行う。 ②会場を設営前の状態に戻す。
安全上の留意点	①ろうそくの火をわたす場合、ろうを下に落とさない渡し方の指導をしておく。 ②暗い中での活動となるので、落ち着いた厳粛な雰囲気を自らがつくるという意識をもたせておく。
その他	

# 18イニシアティブゲーム(チームワーク研修)

概要	与えられた課題に、チームで取組み解決と改善を繰り返すことでチームワークを深める活動
期待される効果	◎信頼関係を深める ○人間関係を深める ○挑戦心や忍耐力を養う
教科との関連(例)	体育(全学年)、特別活動(全学年)
人数	30名以内
場所	プレイホール、研修室
時間	適宜
指導形態	自主活動
活動時期	通年
経費	なし
事前に準備するもの	参加者のチーム分け
引率者の役割	活動前 ①施設職員と場所人数とチーム数を確認する。 ②トイレに行かせる。
	活動中 ○団体構成員への安全配慮に努める。
	活動後 ①参加者の健康観察を行う。 ②活動のふり返しを行う。
安全上の留意点	活動内容によっては、けがをする可能性がある。 参加者同士で、集中していないときに声掛けが必要
その他	

# 19フィールドアスレチック

<p>概要</p>	<p>見晴らしがよく、開放感にあふれたフィールドの中で、九重山群一帯に広がる高峰・渓谷・史跡・温泉郷などになぞらえた30ポイントの遊具を楽しむ活動</p>
<p>期待される効果</p>	<p>◎挑戦心や忍耐力を養う ○人間関係を深める ○親睦を深める ○自然に親しむ</p>
<p>教科との関連(例)</p>	<p>体育(全学年) 特別活動(全学年)</p>
<p>人数</p>	<p>300名程度まで</p>
<p>場所</p>	<p>アスレチック場</p>
<p>時間</p>	<p>1～2時間</p>
<p>指導形態</p>	<p>自主活動</p>
<p>活動時期</p>	<p>通年</p>
<p>経費</p>	<p>なし</p>
<p>事前に準備するもの</p>	<p>なし</p>
<p>引率者の役割</p>	<p><b>活動前</b> ①トイレに行かせる。 ②引率者は、「ロープの握り方」「スロープを走らず移動すること」等を含む安全指導と、仲間と協力して運動を楽しむ心構えについての事前指導を行う。</p> <p><b>活動中</b> ①研修生が安全に気をつけて活動しているかを確認し、適宜指導する。</p> <p><b>活動後</b> ①研修生の健康観察を行う。 ②感想発表を行い、他者の良さを認めたり、他者から認められた等の感想交流を通して、他者の良さや自分の良さを認めることができるようにする。</p>
<p>安全上の留意点</p>	<p>①発達段階や運動能力・体調等を考慮し、無理をさせない。 ②降雨や落雷の発生時は、直ちに活動を中止し休憩所や館内に避難する。 ③遊具や周りの地面が乾いていない場合は、滑りやすいので注意させる。</p>
<p>その他</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

# 20スキー

概要	くじゅう森林公園スキー場で、自然に親しみ、自然の中で活動することの楽しさを体験する活動	
期待される効果	◎挑戦心や忍耐力を養う ○人間関係を深める ○親睦を深める ○自然に親しむ	
教科との関連(例)	体育(全学年) 特別活動(全学年)	
人数	適宜	
場所	くじゅう森林公園スキー場	
時間	4時間から	
指導形態	自主活動	
活動時期	くじゅう森林公園スキー場の営業時(12月中旬～3月中旬)	
経費	スキー場へ問い合わせ	
事前に準備するもの	防寒着(スキーウェア以外)等	
引率者の役割	活動前	①事前の健康チェックを行い、必ずトイレに行かせる。 ②移動時は、列の先頭と最後尾には必ず指導者がつく。 ③スキー板は引きずらず、抱えて運ぶよう指示する。 ④準備体操(ストレッチ)を指導者の指示で行う際、必要に応じて個別サポートを行う。
	活動中	①「止まり方」「転び方」の練習について、必要に応じて個別サポートを行う。 ②板を「ハ」の字にしたプルークボーゲンの練習について、必要に応じて個別サポートを行う。 ③「転び方」の練習について、必要に応じて個別サポートを行う。 ④停止後は、後方の安全を確認し速やかにコースを離れさせる。
	活動後	①列の先頭と最後尾には必ず指導者がつく。 ②スキー板は引きずらず、抱えて運ぶ。 ③スキー板は保管場所に汚れを落として返却するよう指示する。 ④整理体操(ストレッチ)を指導者の指示で行う際、必要に応じて個別サポートを行う。
安全上の留意点	①「コース以外では絶対に滑らない」「前者が滑走コースにいないことを確認後、後者がスタートする」ための事前指導を徹底する。 ②年齢や上達の度合いに応じてスタート地点やコースを変更する場合が考えられるので、指導者との連絡・連携を密にとり安全なエリアの確保を図る。	
その他	 	

# 21ソフトペタンク

<p><b>概 要</b></p>	<p>小さなビュット(目標球)にボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競う活動</p>
<p><b>期待される効果</b></p>	<p>◎人間関係を深める ◎親睦を深める</p>
<p><b>教科との関連(例)</b></p>	<p>体育(全学年) 特別活動(全学年)</p>
<p><b>人 数</b></p>	<p>1セット(先攻・後攻)当たり3名×3名で6人が基本で10セット。人数変更可</p>
<p><b>場 所</b></p>	<p>プレイホール 研修室</p>
<p><b>時 間</b></p>	<p>1～2時間</p>
<p><b>指導形態</b></p>	<p>一部指導</p>
<p><b>活動時期</b></p>	<p>通年</p>
<p><b>経 費</b></p>	<p>なし</p>
<p><b>事前に準備するもの</b></p>	<p>なし</p>
<p><b>引率者の役割</b></p>	<p><b>活動前</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設職員と所要時間やルールの設定等について確認をする。</li> <li>②審判係を配置する。</li> </ul> <p><b>活動中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全体を見渡し、スムーズなゲーム進行に努める。</li> <li>②残り時間をアナウンスする。</li> </ul> <p><b>活動後</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①用具片付けの指導を行う。</li> <li>②活動のふりかえりを行う。</li> </ul>
<p><b>安全上の留意点</b></p>	<p>①ボールが重いので投げ上げたり、他の人に向けて投げ合ったりしないよう、正しいボールの投げ方を指導する。</p>
<p><b>そ の 他</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

# 22スラックライン(室内用)

概要	細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむことで、バランス感覚や集中力などを鍛えることができる活動	
期待される効果	◎親睦を深める ○人間関係を深める ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	体育(全学年)、特別活動(全学年)	
人数	10名程度	
場所	プレイホール、研修室	
時間	適宜	
指導形態	自主活動	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	動きやすい服装に、足元はシューズもしくは裸足を推奨。	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間やルールの設定等について確認をする。
	活動中	①順番を守るなどのスムーズな進行に努める。
	活動後	①用具片付けの指導を行う。
安全上の留意点	①スラックラインは周りに何も無い安全な場所に設置する。 ②スラックラインの張り具合(テンション)を確認する。	
その他		

# 23軽スポーツ

概要	スポーツを楽しみながら、親睦を深める活動
期待される効果	◎親睦を深める ○人間関係を深める ○挑戦心や忍耐力を養う
教科との関連(例)	体育(全学年)、特別活動(全学年)
人数	適宜
場所	プレイホール、多目的広場
時間	適宜
指導形態	自主活動
活動時期	通年
経費	なし
事前に準備するもの	団体や内容に応じて
引率者の役割	活動前 ①貸出物品がある場合は、施設職員に保管場所と返却について確認する。 ②トイレに行かせる。
	活動中 ○休憩時間を確保し、団体構成員の体調管理に努める。
	活動後 ①参加者の健康観察を行う。 ②活動のふり返しを行う。
安全上の留意点	○特に夏季は熱中症対策を確実に行う。
その他	【貸出用具】 ○バスケットボール ○バレーボール ○ミニバレーボール ○ドッジボール ○大縄 ○卓球 ○バドミントン ○ペタンク

# 24プラネタリウム

概要	施設職員の解説を聞きながら投影機に映し出される天体を見て、天体の種類、天体の動き、星座などを学ぶ活動	
期待される効果	◎教養を高める ◎環境について学ぶ ○自然に親しむ	
教科との関連(例)	理科(小4～)、特別活動(全学年)	
人数	133名まで	
場所	プラネタリウム室	
時間	0.5～1時間	
指導形態	全指導	
活動時期	通年	
経費	「利用のてびき」参照	
事前に準備するもの	なし	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間や指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③5分前までに廊下に静かに整列または入室させる。 ④大人数の時は、奥から着席させる。
	活動中	①視聴の妨げになるような行為は注意する。 ②館内は真っ暗になるので移動させない。 ③携帯電話・デジタルカメラ等を使用させない。
	活動後	①退出前に、座った席の座面を上げる。 ②大人数の場合は、出口付近で混雑しないように退室させる。
安全上の留意点	①暗い中で立ち歩かない。 ②事前に非常口及び避難場所を確認しておく。	
その他	 	
画像提供:アストロアーツ		

# 25プラネタリウム(学習プログラム)

概 要	施設職員の解説を聞きながら投影機に映し出される天体を見て、天体の種類、天体の動き、星座などを学ぶ活動 ①「日周・年周運動」 ②「太陽系の天体」
期待される効果	◎教養を高める ◎環境について学ぶ ○自然に親しむ
教科との関連(例)	理科(小4～)
人 数	100名まで
場 所	プラネタリウム室
時 間	1時間 程度
指導形態	全指導
活動時期	通年
経 費	「利用のてびき」参照
事前に準備するもの	なし
引率者の役割	活動前 ①施設職員と所要時間や指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③5分前までに廊下に静かに整列または入室させる。 ④大人数の時は、奥から着席させる。
	活動中 ①視聴の妨げになるような行為は注意する。 ②館内は真っ暗になるので移動させない。 ③携帯電話・デジタルカメラ等を使用させない。
	活動後 ①退出前に、座った席の座面を上げる。 ②大人数の場合は、出口付近で混雑しないように退室させる。
安全上の留意点	①暗い中で立ち歩かない。 ②事前に非常口及び避難場所を確認しておく。
その他	

# 26簡易炊飯

概要	メスティンとポケットストーブを使用した米の簡易炊飯活動	
期待される効果	◎親睦を深める ◎環境について学ぶ ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	家庭科(小5～)、特別活動(全学年)	
人数	40名程度	
場所	研修室	
時間	3～4時間(準備、他活動、食事・片付け)	
指導形態	一部指導	
活動時期	通年	
経費	なし	
事前に準備するもの	○携行品 【個人】米、レトルト食品または缶詰、軍手、タオル、水筒、スプーン等 【団体】着火器具、固形燃料、カセットボンベ(CB缶)、クレンザー、スポンジ、ふきん、救急用品等	
引率者の役割	活動前	①指導員と所要時間や指導内容、携行品、班の数と人数等を確認する。 ②各自の携行品を確認させる。
	活動中	①炊飯用具の各班への受渡しの指導・確認を行う。 ②火気の使用ややけどを防止するため、巡回指導を行う。 ③炊飯用具等の返却の指導・確認を行う。 ④ゴミや清掃等の指導・確認を行う。
	活動後	○人数確認を行い、団体指導者の引率で、次の活動場所へ移動させる。
安全上の留意点	①手洗いや食材の洗浄等衛生面に留意し、食中毒防止に努める。 ②やけど予防に注意する。	
その他	【活動の流れ】 ①メスティンで米を研ぎ、浸水 ②アスレチックやクラフト活動等の活動 ③ポケットストーブ点火とレトルト食品の温め ④食事 ⑤片付け  【貸出物品】 炊飯用：・メスティン ・ポケットストーブ ・トレー 温め用：・カセットコンロ ・大鍋	

# 27バードコール工作

概要	間伐された桜の木の枝と金具を使って、人工的に鳥のさえずりに似た音を出す道具を製作する活動	
期待される効果	◎創造性を養う ○自然に親しむ ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	図画工作(全学年)、特別活動(全学年)	
人数	35名程度	
場所	工作室(研修室でも可)	
時間	1~1.5時間	
指導形態	一部指導	
活動時期	通年	
経費	130円	
事前に準備するもの	なし	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間・指導内容、及び班数・人数を確認する。 ②工作室への経路を確認する。
	活動中	①必要に応じて、材料や貸出用具を配布する。 ②注意事項を守り、安全に製作しているか確認する。 ③危険な行為や製作の妨げになる言動があれば、適宜指導する。
	活動後	①貸出用具を点検させる。 ②清掃と椅子などの整頓ができていないか確認する。 ③忘れ物がないか確認する。
安全上の留意点	①のこぎりと木ねじビットを安全に使用しているか確認する。 ②貸出した木ねじビットの数を確認する。	
その他	<p>【材料】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○木の枝 1本</li><li>○金具 1個</li><li>○ひも 1本</li></ul> <p>【貸出用具】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○のこぎり</li><li>○木ねじビット</li></ul>	

# 28プラホビー工作

概要	プラスチック板を使って熱による色や物質の変化を知り、世界で一つだけのキーホルダーを作成する活動	
期待される効果	◎創造性を養う ○挑戦心や忍耐力を養う	
教科との関連(例)	図画工作(全学年)、特別活動(全学年)	
人数	100名まで	
場所	研修室・視聴覚室	
時間	1～1.5時間	
指導形態	一部指導	
活動時期	通年	
経費	1枚 100円	
事前に準備するもの	筆記用具 図案を考えておくこと	
引率者の役割	活動前	①施設職員と所要時間・指導内容、及び班数・人数を確認する。 ②トイレに行かせる。
	活動中	①必要に応じて、材料や貸出用具を配布する。 ②オーブンを使い、プラスチック板の焼き付けを行う。 ③危険な行為や製作の妨げになる言動があれば、適宜指導する。
	活動後	①貸出用具を点検させる。 ②清掃と椅子などの整頓ができているか確認する。 ③忘れ物がないか確認する。
安全上の留意点	○プラスチック板を焼くときにオーブンを使用するのでヤケドに注意する。	
その他	<p>【材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プラスチック板 1枚</li> <li>○金具 1個</li> </ul> <p>【貸出用具】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペン</li> <li>○穴あけパンチ</li> <li>○ラジオパンチ</li> </ul>	

# 29勾玉工作

<p>概要</p>	<p>蠟石を数種類のヤスリで根気よくみがき続けることにより、古代の装身具の一つで、幸運を招く玉として用いられた勾玉に仕上げる活動</p>	
<p>期待される効果</p>	<p>◎創造性を養う ○挑戦心や忍耐力を養う</p>	
<p>教科との関連(例)</p>	<p>社会(小6～)、図画工作(全学年)</p>	
<p>人数</p>	<p>35名程度</p>	
<p>場所</p>	<p>工作室</p>	
<p>時間</p>	<p>1.5～2時間</p>	
<p>指導形態</p>	<p>一部指導</p>	
<p>活動時期</p>	<p>通年</p>	
<p>経費</p>	<p>170円</p>	
<p>事前に準備するもの</p>	<p>なし</p>	
<p>引率者の役割</p>	<p>活動前</p>	<p>①施設職員と所要時間・指導内容、及び班数・人数を確認する。 ②工作室への経路を確認する。</p>
	<p>活動中</p>	<p>①必要に応じて、材料や貸出用具を配布する。 ②注意事項を守り、安全に製作しているか確認する。 ③危険な行為や製作の妨げになる言動があれば、適宜指導する。</p>
	<p>活動後</p>	<p>①貸出用具を点検させる。 ②清掃と椅子などの整頓ができているか確認する。 ③忘れ物がないか確認する。</p>
<p>安全上の留意点</p>	<p>①キリやヤスリを使う際、周囲に十分な広さが確保されているか確認させる。 ②削りかすの粉をできる限り吸い込まないようにする。</p>	
<p>その他</p>	<p>【材料】 ○蠟石 1個 ○ビーズ 2個 ○ひも 1本 ○紙ヤスリ 3枚</p> <p>【貸出用具】 ○金ヤスリ ○キリ</p>	

# 30どんぐりアート

概 要	秋の自然を感じながら、ホットボンドで木の土台にどんぐりや小枝、落ち葉を取り付け、世界で一つだけの置物を作成する活動	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎創造性を養う</li> <li>○自然に親しむ</li> <li>○挑戦心や忍耐力を養う</li> </ul>	
教科との関連(例)	図画工作(全学年)、特別活動(全学年)	
人 数	15名まで	
場 所	研修室	
時 間	1.5～2時間	
指導形態	一部指導	
活動時期	通年	
経 費	なし	
事前に準備するもの	なし	
引率者の役割	活動前	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設職員と所要時間・指導内容、及び班数・人数を確認する。</li> <li>②トイレに行かせる。</li> </ul>
	活動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要に応じて、材料や貸出用具を配布する。</li> <li>②注意事項を守り、安全に製作しているか確認する。</li> <li>③危険な行為や製作の妨げになる言動があれば、適宜指導する。</li> </ul>
	活動後	<ul style="list-style-type: none"> <li>①貸出用具を点検させる。</li> <li>②清掃と椅子などの整頓ができているか確認する。</li> <li>③忘れ物がないか確認する。</li> </ul>
安全上の留意点	○ホットボンド及びグルーガンを使用するのでヤケドに注意する。	
その 他	<p>【材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土台(木の板) 1つ</li> <li>○どんぐり</li> <li>○小枝</li> <li>○落ち葉</li> </ul> <p>【貸出用具】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホットボンド</li> <li>○ペン</li> <li>○グルーガン</li> </ul>	